

平成28年度 教育講演会(進路指導講演会)

9月23日(金), 日本進路指導推進協議会会長(前 群馬県立高崎東高等学校校長)山口和士先生をお招きして進路講演会を開催しました。1, 2時間目の時間帯は「年若き同志達へ ―真の高校生となる10の指針―」という演目で1年生に, 3, 4時間目の時間帯は「年若き同志達へ ―未来に繋がる10の指針―」という演目で2年生に, 5, 6時間目の時間帯は「年若き同志達へ ―未来を拓く10の条件―」という演目で3年生に向けて講演をしていただきました。その後, 放課後に, 「生涯の進路指導 ―勇気ある教育実践のために―」という演目で教職員に向けて講演をしていただきました。翌日24日(土)には, 「子の巣立ちを助けるために ―親として子供を成長させる10の条件―」という演目で保護者に向けて講演をしていただきました。先生の知識と経験に裏打ちされた熱のこもった講話に生徒も教職員も保護者も熱心に聞き入っていました。



各学年の生徒の感想を一部抜粋し掲載します。

【1学年】

- ・その人の努力次第でいくらでもよい状況に変えていくことができるとわかりました。山口先生が指導されたたくさんの生徒の方が, 厳しい状況からでも努力によって難関大学に合格されていたので, 自分にもできるのではないかという可能性を見出すことができ, 自信につながりました。
- ・今からでも遅くない, 簡単にはあきらめてはいけない, という言葉を聞いてやる気が出た。英語や数学は得意ではないので, 今日聞いた勉強法なども実践して挑戦していきたい。
- ・先生のお話は実体験に基づくものだったので, 具体性と現実性にあふれており, 聴きごたえがありました。90分間をあっという間に感じました。
- ・私は本当に勉強が嫌いで, 家でほとんど勉強したことがなかったのですが, この講演を聞いて, 自然と勉強しようと思えるようになりました。

高校に入学して半年が経過し, 高校生活に慣れてきたこの時期に, 改めて学習に対する意欲をかき立て, 学習の見直しについて考えるよい機会となったようです。

【2学年】

- ・先生のお話を聞いて世界が変わりました。勉強方法、学習時間、進路実現までの道のりがわかりました。進路実現のために親と向き合って話をします。
- ・私は中学生の頃から国立大学への進学を目指しており、明確な志望校もありますが、先生のお話を聞き、自分の日々の甘さを改めて認識することができました。日々の生活を改め、スマホやテレビの時間を1日30分以内にして、勉強時間を増やそうと考えています。先生の最後の言葉「せっかく生まれてきたのだったら～」が心に残っています。日々精進します。
- ・自分は何をやっても普通で特技はないし、勉強も苦手な科目があり、ダメな人だと思っていました。が、先生のお話を聞いて、それは自分で決めてしまった「かせ」であり、志一つでどうとでも変えられるんだということがわかりました。

3年0学期に向けて、受験に対して期待と不安が入り混じっているこの時期に、受験に真っ向から立ち向かう強い意志と覚悟への力強い指針となる講演でした。

【3学年】

- ・今日の講演を聞いて、自分の未来にはまだチャンスがあるんだなと思いました。模試の判定が悪くても逆転できるという山口先生の強い主張は受験生の私の心にすごく響きました。より頑張ろうと改めて思いました。
- ・これまで私には「大学受験は将来よい就職をしてお金を稼ぐ手段」という意識が強くあったのですが、この講演で「将来やりたいことをするため」、「新しい世界に入るため」といった意識が生まれました。私はこの講演を「進学や受験を乗り越えるためのもの」ではなく、「一生に関わる教訓」と捉えています。
- ・今回の講演では、進路のことだけでなく、人として大切なこと、例えば「これからの人生をどう過ごしていくか」などとても参考になるお話ばかりでした。私は、今、勉強のことで行き詰っていたので、先生のお話で、励みにも刺激にもなり、勉強に対する意欲が高まりました。自分のこれからの行動次第で、自分の将来を大きく変えることができるとわかったので、自分の目標に向かって粘り強く頑張りたいです。

受験生真っ只中の3年生の進路に対する不安を和らげるだけでなく、将来を見据えた人生に関わる示唆に富んだ内容でした。